

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.335 2017.9.20 連絡先 402-1622 >

一般質問 行いました

私松坂は15日、核兵器廃絶や福祉施策で市の姿勢をたどりました。
以下、その内容を簡単に紹介します。

「核兵器禁止条約」市長の受けとめは？

国連会議で歴史的な核兵器禁止条約が採択されたことを紹介し、市長がどう受けとめたのかを質問しました。市長は「現実的・実践的な取り組みを積み重ねていくとの立場から日本は採択に参加しなかった」と、日本政府の不参加の理由を述べただけでした。

また、市長に「ヒバクシャ署名」への署名を求めたところ「被爆された方々が主体となって取り組まれた国際署名であることは認識」「署名の取り扱いも含め核兵器廃絶の思いを伝える方法を考えていく」としました。

生活保護制度 わかりやすく広報を

生活保護基準以下の生活で生活保護制度を利用できている世帯の割合を捕捉率と言います。制度を利用するには様々な要件があるため、国が示した数値でも大きな幅がありますが、それらの数値を基に計算すると市内に少なく見ても3500世帯以上、生活保護制度を利用できるのにしていない状況にあると言えます。一方、仕事がある、年金がある、持ち家に住んでいるなどの理由で生活保護制度を利用できないと思っている人がいます。制度をわかりやすく記載したパンフレットの作成や市ホームページへの掲載を求めました。福祉局長は「制度の周知に有効な手段だと考えている」と答えました。

みち子のひとりごと 台風の日

先週末は台風が来るという予報で何もできないとあきらめていました。でも、警報は出まじりましたが外は静かで、その後台風は夜の間に行ってしまう、予定していたことがほぼできました。

17日の集会は、開始時間を30分間違えるという失敗もありましたが、総選挙もありそうな状況のなか、改憲の発議はさせない運動を！全国3000万人署名に取り組みよう！と意思統一しました。

18日の若者のデモ行進は、ずっと音楽をかけたながら、いろいろな人が、行進参加の人も含め交代でマイクを持ち、スピーチしながら歩くというものでした。だれでもどこからでも出入り自由なので、あとからの予定もあり、途中で抜けましたが、楽しくスピーチを聞きながら歩くことができました。小学生の「税金はみんなが喜ぶことに使って」というスピーチには、大きな拍手でした。

幸い市内では大きな被害はなかったのですが、早めの備えは大切です。





敬老の日、朝から街頭演説に

17日朝、一般紙記者から電話。「選挙になりますね、ご存知ですか」と。党利党略しか頭のない人たち、さもあらなん、だ。北朝鮮危機で不安がおき内閣支持率が少し上向いたとはいえ、人間性が信用できない、政策が信頼できないなどの批判が解消されたいわけではない。

出た。国会解散が濃厚の二ユーアの直後で、それまでとは違った反応が返された。「選挙やねえ」「がんばってください」「共産党はブシテないなあ」などと声をかけてくれる。短期決戦になった。1区ですべての有権者に訴えが届くように、新しい政治を生み出すために、全力をあげたい。

農業振興へ活用策提案

森下さち子議員

13日森下議員は、農業振興や保育行政で市の姿勢をただしました。

森下市議は、和歌山市の市街化農地がこの20年間で半減したことを示し、固定資産税や相続税が宅地並みに課税されることが拍車をかけていると指摘。市街化農地であっても農地並み課税を継続する生産緑地制度のさらなる活用など対応を求め、尾花正啓市長は「都市と緑地や農地との共生をめざしたい」と答弁しました。

森下市議は公立保育所・幼稚園を「行政改革」の対象にして統廃合を進めているを批判。市長は、統廃合によってつくられる幼保連携認定型こども園が多様化する保育ニーズに対応できると答えました。森下市議は「公立保育所を行革の対象とするのではなく保護者目線、子ども目線が第一。住民の願いから出発するべきだ」と求めました。

市有地活用など要求

ひめだ高宏議員

14日、ひめだ議員は道路や市有地の問題で問題で市の姿勢をただしました。

ひめだ市議は、琴の浦リハビリテーションセンターへ行く進入路拡幅について、市が県と協働するとしながら進んでいない状況を質問。尾花正啓市長は「今後、当該道路の拡幅の整備等について県と協議する」と答弁。道路浸水対策について巽建設局長は「効果的かつ効率的な浸水対策を行う」と答えました。

ひめだ市議は、市の依頼により市土地開発公社が先行所得した土地が、その後の計画変更などによって使い道が決まっていない市有地の問題を取り上げ、専門部署を設けるなどして有効活用するよう要求。田又財政局長は「有効活用については、市公有財産等検討委員会で検討を行っている」としました。

市民と歩む図書館 ～図書館が変わる!～

9月30日(土)

14:00 ~ 16:00

勤労者総合センター 6F

講師 山本健慈さん 元和歌山大学学長
渡部幹雄さん 和歌山大学教授
同付属図書館長

2019年、新図書館が会館します。地域の人々に愛される図書館づくりに関わって来られたお二人のお話をお聞きしましょう。図書館に対するイメージが変わるかもしれません。

参加費無料・予約不要
どなたでも参加できます

主催：「市民と歩む図書館」開催実行委員会